

03 対象敷地における問題提起

<問題提起>

Q.100年後の十日町新座は？

その原因は？

A. 廃村

高齢化
過疎化

図-4 十日町市の人口と高齢化率

調査年	人口 (A)	65歳以上人口 (B)	高齢化率 (B)/(A)
H22	58,811 人	18,937 人	32.1%
H27	54,917 人	20,211 人	36.8%

出典 総務省「国勢調査」

図-5 十日町市の65歳以上世帯数

調査年	世帯数 (A)	65歳以上世帯数 (B)	65歳以上世帯数割合 (B)/(A)
H22	18,941 世帯	1,551 世帯	8.2%
H27	17,553 世帯	1,681 世帯	9.5%

出典 総務省「国勢調査」

少子高齢化に伴う地方地域における過疎化の問題は全国的に社会問題となつて。十日町市もその例外ではない。左図(図-4)(図-5)のように年々高齢化と過疎化の一途をたどっている。対象敷地である十日町市新座はかつては集落として人の生活が営まれていた。今現在は対象敷地にのこる民家は2軒ばかりである。まちおこしなどの取り組みは一時的な人口増加に過ぎず、人口減少の根本的な解決にはなり得ない。対象敷地の100年後の未来は存続か廃村か。その土地にとって本当に価値のある選択は何であるか。

<過疎化による里山荒廃>



図-6: 荒れる里山

里山とは、人里に隣接する森や山のこと。燃料となる薪や炭、畑に入れる落ち葉、農具や生活用具、山菜やキノコなどの食料まで、民家の裏山から賄っていた。その里山は、人の手が入ることで豊かな自然のバランスが保たれていた。時代が進み人の生活は大きく変わり、里山には人の手が入らなくなると里山は荒れ、その環境は変わってゆく。

- ・ツル植物が繁茂し樹木が腐る
木々に巻きつき高いところへ上っていくツル植物が、木の成長を妨げ、木を衰弱させる。
- ・萌芽更新が行われず暗い林になる
15～25年で伐採し、切り株から出た芽を育て、成長したらまた切るというのを繰り返していた雑木林。薪や炭を使わなくなったため、大木化した老齢の木が密生、日が差し込まない暗い林に。萌芽力も低い。
- ・ササが繁茂する
森の中には、繁殖力の強い特定の植物だけが密生するようになる。背丈ほど伸びるササ類が繁茂し、ヤブと化した里山は多くみられるケース。
- ・竹林が拡大する
地下茎を伸ばして勢力を広げる竹。成長も早く、他種の木を超える高さになるため、竹林に変わっていく。
- ・常緑樹が入る
自生していた常緑樹は、雑木林が放置されたことで増えてくる。常緑樹が増えると、林内に入る光が減り、光が少ないと生きられなくなる植物は消えていく。

里山を形成すると要素は大きく分けて「人の生活」「河川」「畑」「水田」「森林」と5つある。これらが1つでもかけた場合、里山としてのバランスは崩れ、里山の機能を維持できなくなる。少子高齢化と過疎化の影響による廃村。廃村によって「人の暮らし」という要素が消滅。里山にとって人の暮らしはという要素はとても重要であるがそれがない場合、里山の機能は維持できなくなる。

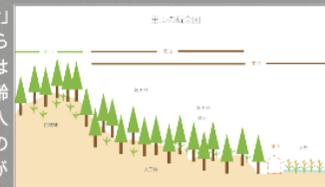


図-7: 里山概念イメージ

<インタビュー調査>

調査内容 対象敷地の住民3人

調査日時 2022/07/26

方法 インタビュー

質問内容 ・対象者について ・今後の暮らし・対象敷地の未来



図-8: 民宿かやや



図-9: 齋藤家宅

十日町民宿「かやや」
十日町で民宿を営む田中さん
十日町で生まれ育ち、東京で進学、就職した後、地元である十日町へ帰る民宿をはじめた。生活の拠点は十日町中心市街。民宿営業日には対象敷地にて活動する。畑と狩猟に取り組んでいて環境と密接に関わっている。

齋藤家
親の世代からこの地で暮らしてきた。子ども2人は就職、結婚で十日町を離れた。現在は夫婦ふたり暮らし。車を運転することで市街地へ買い物や病院などへ出る生活を送っている。

十日町民宿「かやや」
十日町で民宿を営む女将田中さん

今後の暮らしについては？

この家に後継はいない。自分が死んだら空き家になる。死ぬまでここで暮らしていく。

この土地の未来は？

長年暮らしてきた土地は愛着がある。しかし生活は不便。廃村してしまうのは悲しい。

斉藤夫妻
68歳男性 66歳女性

今後の暮らしについては？

夫婦どちらが死んだら息子家に引っ越す。この家は空き家、もしくは取り壊す予定。

この土地の未来は？

愛着はあるが廃村は仕方ない。町おこしするほどの価値はない。街まで遠く、雪も降る。都会の暮らしと比べて不便。

今後の暮らしについては？

夫婦どちらが死んだら息子家に引っ越す。この家は空き家、もしくは取り壊す予定。

この土地の未来は？

多くの人に移り住んで欲しい。不便さの中でもこの土地の魅力がある。昔の自然豊かな暮らしを取り戻したい。